

おもしろ実験&観察が満載「ジオパーク学習」 ～伊豆の国市立葦山南小学校～

伊豆半島ジオパーク推進協議会の協力のもと、伊豆の国市立葦山南小学校6年生は、10月2日（水）、「ジオパーク学習」を行いました。鈴木雄介研究員が田方平野の成り立ちをスライドで説明をし、児童は大きな軽石を持ち上げたり「噴火実験」を行い、5m以上吹き上がる噴火に大きな歓声が上がりました。

噴火の説明の後は、大きな水槽でもくもくと高くのぼる噴煙と火砕流の実験を行いました。噴出物の重さの違いを入浴剤と色付き塩水で表現し、実際の噴火をイメージすることができました。

この学習を通して子供たちは、「伊豆半島に興味を持った」「双眼実体顕微鏡で見た火山灰がきれいだった」「噴火は怖いけれど、大地の恵みもあることが分かった」等の感想とともに実験の面白さを実感し、「もっと知りたい」と意欲的に学習に取り組む子がさらに増えました。

（伊豆の国市立葦山南小学校 井村 英貴）



噴火実験の様子

狩野川から地形を学ぶ ～長岡北小ジオパーク学習～

伊豆半島ジオパーク推進協議会の協力のもと、伊豆の国市立長岡北小学校3年生は、10月17日（木）、「ジオパーク学習」を行いました。総合学習の時間では、校区を流れる狩野川についての学習を行っています。今年度は狩野川の成り立ちをジオパークの面から学ぶようにしました。

実際に狩野川へ行きジオガイドさんの説明を聞きながら、地形の特色をもとにかつての狩野川が流れていた場所や、ジオリアや狩野川資料館、狩野川放水路の見学を行いました。

ジオリアにある水理模型では、水の流れの働きや川が常に変化していることも学びました。かつて川が流れていた平らで住みやすいところに人が住んでいること、長い年月の間には再び崩壊する恐れがあることが分かりました。狩野川資料館では、狩野川台風による氾濫した川による被害がどれほどのものか説明していただきました。授業の前に台風15号、19号が通過し、子どもたちも身近な体験と感じてくれたのではないかと思います。

3年生の子どもたちにとっては難しい内容ながらも、狩野川について理解する貴重な学びとなりました。

（伊豆の国市立長岡北小学校 村中 孝至）



狩野川放水路の見学の様子

「伊豆半島ジオパーク子ども絵画コンクール」 ～39点入賞しました～

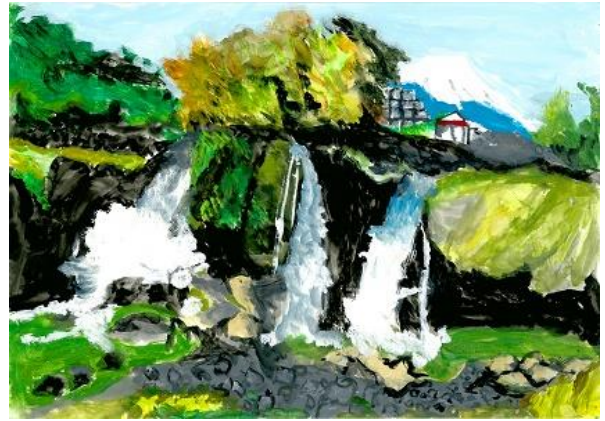
夏休みに作品募集を行いました「伊豆半島ジオパーク子ども絵画コンクール」には、各部門あわせて193点ものたくさんの応募をいただきありがとうございました。審査会も終了し10月下旬に入選作品の発表を行ったところです。今後は、伊豆半島内各地での巡回展で入賞作品の展示を行います。是非、足をお運びください。

巡回展のスケジュールは以下のとおりです。（伊豆半島ジオパークのウェブサイトにも掲載しています。）

12月5日～1月21日	ジオリア&さんしんストリートギャラリー熱海	半数ずつ展示
1月24日～2月10日	南伊豆町役場&ジオテラス伊東	半数ずつ展示
2月13日～2月27日	さんしんストリートギャラリー下田	全作品



小学校低学年の部 最優秀賞
作品名：「おおだる」
描いたジオサイト：河津七滝（河津町）



小学校高学年の部 最優秀賞
作品名：「富士山の溶岩が作る滝」
描いたジオサイト：鮎壺の滝（長泉町）



中学校の部 最優秀賞
作品名：「堂ヶ島三四郎岩」
描いたジオサイト：堂ヶ島（西伊豆町）

《編集後記》

伊豆半島ジオパーク子ども絵画コンクールへのご応募ありがとうございました。どれも素晴らしい作品で、伊豆半島にあるジオサイトの魅力を再認識しました。子どもたちは感性豊かで、同じジオサイトでも見方を変えるだけで印象が異なったり、私も知らないジオサイトの「顔」がありました。今回紹介しました最優秀賞の作品以外も巡回展でぜひご覧ください。急に寒さも厳しくなってきました。皆さま体調には気をつけてお過ごしください。

（事務局 早川）